

さいたま市長定例記者会見

令和6年3月27日（水曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行        それでは、定刻になりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。

                  それでは、記者クラブ幹事社、テレビ埼玉さん、進行をよろしくお願ひします。

○テレビ埼玉        3月の幹事社を務めますテレビ埼玉と申します。よろしくお願ひします。

                  それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いします。

○ 市 長        皆さん、こんにちは。

                  今年度最後の会見となりました。

                  例年であれば桜の便りを皆様にお伝えしているところですが、今年は開花が少し遅れているようです。予報では今週末に向けて気温が上昇しますので、見沼たんぼの桜回廊をはじめ、市内の各所で美しい景色が見られることを楽しみにしています。

                  さて、今私が手にしているのは、今月25日に発行したさいたま市魅力発信情報誌「s a i 2 0 2 4」です。今回の第2号では、10名の市民ライターの皆様が「誰かにおすすめしたい“とっておき”のさいたま市」というテーマで様々なスポットを紹介しています。

                  住みやすい、また住み続けたいまちとして高い評価をいただいている本市ですが、市民の目線で本市の隠れた魅力を発掘し、発信していただくことは大変ありがたいことです。

                  このようにフリーペーパーのスタイルで、区役所、図書館、また公民館などの施設に置いてあるほか、市の公式ホームページでもご覧いただけますので、詳しくは、さいたま市、アルファベットでs a i、2024で検索をお願いします。

                  また、紙面に掲載し切れなかった情報はs a iのインスタグラムでも紹介をしています。

                  地元愛がぎっしりと詰まった楽しい情報誌となっています。ぜひ多くの

皆様にご覧いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

それでは、議題に入ります。

## 市長発表：議題1「桜木駐車場用地活用事業基本協定を締結しました」

議題1「桜木駐車場用地活用事業基本協定を締結しました」について説明します。

初めに、本事業の概要について説明します。本事業は、桜木駐車場用地を民間事業者が主体となって活用することによって、官民連携による「東日本の対流拠点形成に資する機能の導入」の実現と周辺まちづくりとの連携を図るものです。

優先交渉権者は、「大和ハウス工業株式会社北関東支社」及び「大和ハウスリアルティマネジメント株式会社」を代表企業として、「東日本旅客鉄道株式会社」を構成員とする企業グループです。

提案された貸付期間は35年間、また企業から貸付料としていただく金額は、年間1億3,800万円です。

次に、基本協定の締結について説明します。一昨日、3月25日に市と優先交渉権者との間で基本協定を締結しました。基本協定の内容は、本事業の円滑な履行のため、市と事業者の役割や権利義務などを定めています。これをもって、優先交渉権者は本事業を実施する事業者として正式に決定しました。

なお、同日に「定期借地権設定契約」の締結も行い、今後は令和6年4月1日に土地の引渡しを行う予定です。

次に、事業者からの提案内容について説明します。まず、開発のコンセプトです。「大宮ウエルビーイングステーション」です。一人ひとりの多様な価値観に合ったまちづくりを目指し、「新たなビジネス、文化、ライフスタイルを生み出すウエルビーイングな拠点」を大宮に創るというものです。

建物のデザインは、鉄道のレールなどをモチーフとしたイメージのデザインとなっています。

コンセプトや施設の外観からも分かるように、「鉄道のまち大宮」としての魅力さをさらに高めるものとなっています。新たなランドマークの誕生を期待しています。

次に、事業方針について説明します。本事業は、「訪れる一人ひとりがウェルビーイングを実感できる場所」として、多様な人を引きつける様々な機能や空間を用意し、3つのコア事業を軸にしています。「健康的に暮らし、働くためのライフ、新たな価値に触れるカルチャー、人や地域につながるコミュニティ」、この3つのコア事業を軸にして、様々な事業が連携します。東日本の対流拠点の形成に貢献するサイクルが生まれることとなります。

次に、本事業の目玉となる「東日本対流拠点を形成する取組み」を3つ紹介します。

1つ目は「新幹線物流を活用し、東日本の「幸」が一堂に会す、食の集積拠点をつくる」です。早朝に東日本各地で収穫、梱包された「幸」は、午前うちに新幹線に積み込みを行い、大宮へ素早く輸送されます。午後には、施設内のショップやレストランで来街者へ提供が可能となります。

さらに、生産者やメーカーとの交流機会も設け、東日本各地との連携を深める機会も提供する予定です。一過性のものでなく、恒常的な新幹線物流を活用する取組は、日本有数の交通結節点である大宮ならではのものです。

次に、2つ目の取組みです。『鉄道のまち大宮』の魅力をも東日本のみならず、全国へ発信できる鉄道文化の新たな発信拠点をつくる」です。鉄道博物館や大宮駅をはじめとした鉄道資源と連携し、鉄道文化や歴史を楽しむ様々なプログラムを計画しています。

また、来街者を出迎えるステーションハブという広場には、当施設のシンボルとして「魅力的な鉄道車両」を展示して、来街者を出迎え、地域交流を促すようなイベントスペースとして活用することを計画しています。

鉄道文化は、大宮の歴史と文化の形成を語る上で決して欠かせない象徴的な文化であり、周辺施設との連携によりさらなる相乗効果を発揮することで、新たな鉄道のまちとしての発展の可能性に期待しています。

続いて、3つ目の取組みは「東日本各地から多様な人々を迎え入れるスマートウェルネスに過ごす交流拠点をつくる」です。この取組みは、自然と活力に溢れた地域貢献施設の整備によって、さらなる「選ばれる街」の実現を目指します。

具体的な取組としては、来街者を出迎える大きな広場を整備することや、スポーツチームと連携した取組み、また地域交流の場の提供を通じて、市

民や来街者がスマートウェルネスに過ごせる場をつくる計画です。「住みたいまち」として評価されている大宮の地位をさらに向上させる取組みとして期待しています。

次に、今後のスケジュールです。先ほど申し上げたとおり、3月25日に基本協定を締結すると同時に定期借地権設定契約も締結しました。この後、4月1日に土地の引渡し、また4月以降には近隣住民向けの説明会、地盤調査、施設設計等を順次実施していきます。そして、令和7年頃に着工する予定で、開業は令和9年頃になる予定です。

最後になりますが、このたび大和ハウスグループ、JR東日本と協定を締結することができ、大宮が東日本の対流拠点となる新たな一步を踏み出すことができました。鉄道輸送を活用した東日本圏域との連携といった取組みとともに、東日本の対流拠点の形成に資する機能が導入されることで、大宮の魅力をさらに高めると考えています。

また、「鉄道のまち大宮」の魅力を東日本、ひいては全国に発信していくことで、本市のさらなるブランディングにつながることを期待しています。今後も、東日本の対流拠点の実現に向けて、事業者と連携しながら、取り組んでいきたいと考えています。

議題の説明は以上です。

### **お知らせ①：「今週末に第12回さいたまマーチが開催されます」**

続きまして、皆様にお知らせが2つあります。まず、1つ目のお知らせです。こちらにポスターもありますけれども、第12回さいたまマーチの開催がいよいよ今週末に迫ってきましたので、改めてご案内します。

開催日は、3月30日及び31日の2日間です。スタート、フィニッシュ会場は、さいたま新都心バスターミナルです。

当日の申込みは、参加費は大人が2,000円、小・中・高校生が1,000円で、スタート、フィニッシュ会場の受付テントで申込みいただけます。

私自身も3月30日の土曜日に5キロコースを歩く予定です。3月30日、31日両日ともに中央会場であるさいたま新都心バスターミナルへ足を運び、参加者の皆さんの激励を行いたいと考えています。

天気予報では、両日とも「晴れ」が予報されています。コースとなる見沼田んぼの桜も見頃を迎えると予想されています。ぜひ多くの方に春のお花見ウオークを楽しんでいただきたいと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。よろしくお願いいたします。

## お知らせ②：#さいたまさくら 2024 キャンペーン

続きまして、2つ目のお知らせです。市公式インスタグラムで、市内で撮影した桜の写真を募集しています。市内には「桜の名所」から「穴場スポット」まで様々な見どころがあります。桜スポットを共有することで、市内の魅力の再発見や出かける際のきっかけにさせていただきたいと考えています。

期限は4月14日までです。参加方法は、市公式インスタグラムをフォローしていただき、市内で撮影した桜の写真に「#（ハッシュタグ）さいたまさくら2024」をつけて投稿してください。この季節ならではのイベントを市民の方々に、ぜひお楽しみいただきたいと思います。

私からの説明は以上です。

- テレビ埼玉      それでは、市長からの説明について質問のある方はマイクを使用してお願ひします。

## 議題に関する質問

- 埼玉新聞      埼玉新聞です。

改めて桜木駐車場の基本協定締結の期待をお伺いしたいのと、あと9,000平米が市が整備すると、公園などを整備する、広場などを整備すると聞いたのですけれども、そのスケジュールを教えてくださいのと、あとスマートウェルネス、2番と3番の事業は、これは大和グループがやるのでしょうか。それとも、2番の鉄道文化の新たな発信拠点をつくるなどと交流拠点でイベントをするのは、これは市が行うのでしょうか。

- 市長      順次お答します。

まず、期待についてですが、初めに事業者の皆さんにあたっては、桜木駐車場用地活用事業に対し大変真摯な姿勢で取り組んでいただき、またすばらしい提案をいただけたと深く感謝を申し上げたいと思います。

大宮ウェルビーイングステーションをコンセプトに新たなビジネス、そして文化、ライフスタイルを生む拠点を目指す提案となっており、選定委員会から提出された審査講評にもありますが、今回の提案は大宮の歴史、文化的な特性を十分に理解し、対流拠点の形成を実現しようとする点をはじめとして、多くの面で優れた提案であったと思っています。

私としても、鉄道輸送を活用した東日本圏域との連携といった取組などとともに、地域課題への取組も図りながら、東日本の対流拠点の形成に資する機能の導入が図られる提案となっていることから、鉄道のまちの歴史、文化をさらに進化させ、本市の魅力がさらに高まることを期待しています。

市の事業のスケジュールは後ほど担当からお話します。

それから、3つ目ですが、イベント等については、基本は事業者が行うものですが、市が連携をしたり、地域の自治会や地域の皆さんと連携をするようなイベントも当然想定されると思っています。

では担当のほうから。

- 事務局      この事業に併せてさいたま市が一部広場などを整備する予定となっています。広場のスケジュールについては、基本的にはこの事業と足並みをそろえて進めていく考えです。
- 埼玉新聞      以前、施設の事業開始予定は令和9年の末というふうに聞いたのですが、これは変わっていないんですか。
- 事務局      お答えします。  
スケジュールについては、現段階では令和9年を目指していて、令和9年中の細かい時期については今後の検討となります。
- 埼玉新聞      市議会には令和9年の末とおっしゃっていましたが、これは当時はそういうふうにおっしゃったというだけですか。
- 事務局      スケジュールについては、特にその段階から変更はありません。

**幹事社質問：**

石川県七尾市の避難所を訪問して被災地の現状をどのように感じられたか、また、視察を通じて改めて災害対策への市長のお考えをお聞かせください。

- テレビ埼玉      それでは、幹事社として代表質問させていただきます。1点です。質問

させていただきます。

石川県七尾市の避難所を訪問されて、被災地の現状を御覧になられたというふうにお聞きしていますが、改めてどのように感じられたかということと、視察を通じて改めて災害対策への市長のお考えというものをお聞かせください。

○ 市 長            それでは、幹事社からの質問にお答えします。

今回の訪問では、16日の午後に七尾市に到着し、まず本市が支援を行っている避難所や建物被害、また道路被害の大きかった地域を巡回させていただきました。私が訪問した、まず七尾駅の周辺では、商業施設や飲食店など営業を再開しているところも多く、徐々に生活が戻りつつあると感じました。

もう一方で、建物は倒壊した状態のままです。また、道路などは応急的に補修されているものの、隆起している場所も多くあり、復旧や復興にはまだまだ時間が必要と感じました。

大規模災害への対応は長期に及ぶものであり、市民の不安をできる限り緩和することであったり、対応する職員の健康維持についても留意をしなければならぬと再認識したところです。

本市職員が支援を行っている山王小学校の避難所では、近隣の避難所との統合に向けて学校が再開することもあって、準備が進められている状態でした。避難所運営を手伝う方々や避難者の方々からも生の声を聞かせていただきました。本市からの支援に対する感謝の言葉を何度もいただきました。感謝の言葉をいただいて、私たちのほうがむしろ本当にありがたいと感じたところです。また、継続した人的支援のニーズがあると感じたところです。

その後、七尾市役所に参り、茶谷義隆市長と面会させていただきました。そして、市全体の復旧状況、また今後の支援に関して意見交換をさせていただきました。茶谷市長からは、上下水道の復旧が大きな課題であり、発災から日数が経過しても避難者の数がなかなか減らないという状況でしたが、水道復旧のタイミングとともに避難者の減少につながっていること、また罹災証明書発行のための建物被害の認定調査の2次調査に時間を要していることを伺いました。

私からは、今後の継続支援について、また復旧の段階から、段階的に復興の段階にフェーズが変わってくると思いますが、産業の復興に向けて、本市が有している「まるまるひがしにほん」におけるイベント開催などについてもご提案させていただきました。

今回の訪問を通じて、将来本市に想定されている首都直下地震や、南海トラフ地震への備えの強化として、応急、復旧対策からその後の復興対策まで、全てに対して、事前の準備とより迅速な対策につなげていきたいと考えています。

また、日頃から関係機関との応援受援体制が必要であると強く感じたところでもあります。本市では、避難所運営や水道、下水道、環境、保健、医療など幅広い分野で被災地支援に当たっています。今後、支援対策会議において情報、また課題を全庁的に共有していくとともに、今後の本市の対策につなげていきたいと考えています。

以上です。

○テレビ埼玉 代表質問の説明に対して質問がある方はお願いします。

### 幹事社質問に関する質問

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。

被災地を訪問されて、今後の市の能登半島地震への支援というのはどのように変わっていくのでしょうか。それとも、要望を受けてこうしていくとか、人的支援とか、その辺どうなるのでしょうか。

○ 市長 今後の支援については、1つは避難場所の運営をはじめとした一定の人的支援が必要であると。まだ3月中にはそういった支援を終わらせるわけにはいかないと感じています。継続的に人的支援を継続していく必要があると感じています。

また、それ以外の支援については、段階的に復旧の段階から復興の段階につながっていく、そろそろそういう過渡期にもなってくると思いますので、そういったことも含めてできる限りの協力はしていきたいと思っていますし、私たちもやれることなど提案もしながら、一日も早い復旧、そして復興につなげられるように協力していきたいと思っています。

○テレビ埼玉 それでは、幹事社からの質問は以上とさせていただきます。

そのほかの質問のある方お願いします。

## その他：若田光一宇宙飛行士の J A X A 退職について

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

若田光一さんが J A X A を退職する意向で、29日に記者会見されるので、何をされるかは分からないのですけれども、退職される、60歳定年を迎えるということで、これまで市長特別賞も2回授与されて、レジェンドですけれども、受け止めをお願いいたします。

○ 市長

若田宇宙飛行士の J A X A 退職について、今日31日付で J A X A を退職されると伺いました。若田光一宇宙飛行士には、子供たちの夢や希望を応援していただくとともに、「宇宙のまち、さいたま」の発展にご尽力をいただき、さいたま市の青少年宇宙科学館と宇宙劇場の名誉館長を務めていただいています。日本人最多の5度の宇宙飛行を完遂し、日本の有人宇宙活動を牽引した功績は大変大きく、市民の一人として大変誇らしく思っています。

大きなミッションの数々に取り組み、ご苦労もあったと思いますが、大きな事故もなくこの職を終えられることに敬意を表したいと思います。さいたま市は、夢に向かってこれからも飽くなき挑戦を続ける若田宇宙飛行士を応援するとともに、日本と世界の宇宙開発への貢献を期待しているところです。

## その他：次世代型スポーツ施設について

○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

先日与野中央公園のアリーナで中央区選出の5人の市議と市民の意見交換が行われました。報告は受けていらっしゃると思うのですけれども、その中でも、賛成している議員の中でも、メインアリーナは大き過ぎるのではないかと、緑はもうちょっとあったほうがいいのではないかとという指摘もございました。計画はまだ固まっていないのですけれども、その辺の今後どういうふうに対応されていくかというのを教えていただけますか。

○ 市長

このたび中央区選出の議員の皆さんが計画してオープンミーティングが開催されたと伺っています。当日は、議員側からの求めに応じて、市職員

が冒頭で（仮称）次世代型スポーツ施設を含む与野中央公園の整備について概要説明をさせていただいたところです。議員からもそれぞれの立場でご発言があったほか、参加された市民の皆様からも、賛成のご意見と、反対やご心配のご意見と、双方がそれぞれあったと報告を受けています。賛成のご意見も含めて多様なご意見が会場の皆様で共有されたと伺っておりますので、有意義なものになったと拝察をしているところです。

本市としては、（仮称）次世代型スポーツ施設の整備については、さいたま市や中央区の持続的な成長発展のために必要な施設として進めているもので、引き続き丁寧に説明しつつ施策を前に進めなければならないと考えています。いずれにしても、今回いただいたご意見なども十分に踏まえながら、またしっかりと前に進められるようにしていきたいと考えています。

### その他：パートナーシップ制度の県全域自治体間連携協定について

#### ○ 埼玉新聞

埼玉新聞です。

パートナーシップ制度の関係ですけれども、4月12日にさいたま市も含めて県内62市町村が連携協定を結びますけれども、浦和で行われるので、市長も参加されるのかなというのと、締結はされるんですけれども、各自治体によって内容が違いますので、最低ラインのところは適用されるというふうに聞いていますので、今後どのように一番最初に制度を施行されたさいたま市としては進んでいくのを期待しているのかというのを教えてください。

#### ○ 市長

まず、パートナーシップの締結式については出席させていただく予定です。そして、62市町村で締結されるということで、早い段階でこの問題に取り組んできたさいたま市としても、埼玉県全域でこういった取組が行われることは大変意義深いところであり、LGBTに関係される皆様にとっても、まず一歩前進ができたものと考えています。

中身については、それぞれ自治体によって違いもありますが、まず第一歩を踏み出す、そこから先はまた順次それらの施策をそれぞれがまた進めていくことでいいのではないかと考えています。まず、県内でこれだけ広域的な形で協定を締結して進めていけることについては大変うれしく思っているところです。

- 埼玉新聞      なかなか回答が難しいかもしれませんが、川口市が唯一制定していないのですけれども、前向きとはおっしゃっているのですけれども、その辺はいかがですか。
- 市 長      基本的には、それぞれの自治体が判断して決めていかれることですので、川口市の今後の取組については、川口市として前向きに捉えていただいていると伺っていますが、県内全域でということになれば、それはまた望ましいことだと思っています。ただ、いずれにしてもそれぞれの自治体で判断し、決定されていくべきものだと考えています。

### その他：紅麴の被害状況について

- 朝日新聞      朝日新聞です。  
全国で今広がっております小林製薬の「紅麴」の問題で、今のところ市内で健康被害ですとか、あるいは回収だとか、何か動きだとか情報みたいなものは寄せられるかどうかというのをちょっと教えてください。
- 市 長      保健所等、関係しそうな所管に確認したところ、現時点では具体的な相談であるとか問合せについては伺っていません。ただ、今後そういった問合せ等もあると思いますので、それらについては担当の保健所を中心に、被害を受けられている方々、あるいは不安を持たれている方々には丁寧に私たちのできる範囲の中で対応していきたいと考えています。
- テレビ埼玉      ほかによろしいでしょうか。  
それでは、本日の記者からの質問は終了させていただきます。
- 進 行      以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。  
なお、次回の開催ですが、4月11日木曜日午後1時30分からを予定しております。本日はありがとうございました。

午後 2時01分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。